



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場会社名 株式会社バルクホールディングス 上場取引所 名
コード番号 2467 URL <http://www.vlcholdings.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大竹 雅治
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 五十嵐 雅人 (TEL) 03(5649)2500
四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	510	15.2	3	—	7	—	8	—
24年3月期第2四半期	443	△14.8	△44	—	△38	—	△39	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 7百万円(—%) 24年3月期第2四半期 △41百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	195 43	—
24年3月期第2四半期	△918 40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	394	175	41.1
24年3月期	406	168	37.8

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 162百万円 24年3月期 153百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0 00	—	0 00	0 00
25年3月期	—	0 00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0 00	0 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,047	7.6	16	—	13	—	9	—	210 28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 —社(社名) — 、除外 —社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	43,300株	24年3月期	43,300株
25年3月期2Q	—株	24年3月期	—株
25年3月期2Q	43,300株	24年3月期2Q	43,300株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	P. 5
4. 四半期連結財務諸表	P. 6
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
四半期連結損益計算書	P. 7
四半期連結包括利益計算書	P. 8
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 9
(5) 重要な後発事象	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)におけるわが国経済は、復興関連需要などから国内需要が底堅く推移し、緩やかに回復基調となっているものの、欧州債務問題、中国を初めとする新興国経済の減速、長期化する円高による国内経済の減速懸念など、依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの事業は、景気動向の影響を受けやすく、当社グループを取り巻く事業環境は引き続き厳しい状況にあります。このような事業環境のもと、既存顧客の囲い込み、ウェブ戦略を含めた積極的な新規顧客開拓の営業活動及び商品力の向上等の既存事業の強化に取り組むとともに、事業規模に見合った固定費の適正化、原価費用の内製化など事業経費の削減、徹底した予算進捗管理等の経営改革に努めてまいりました。

これら取り組みにより、当第2四半期連結累計期間は、前年同期に比べ、増収増益を確保し、黒字転換をいたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は510,789千円(前年同期比15.2%増)、営業利益は3,486千円(前年同期44,449千円の損失)、経常利益は7,935千円(前年同期38,111千円の損失)、四半期純利益は8,462千円(前年同期39,766千円の損失)となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメントの業績につきまして(セグメント間の内部取引消去前)は、次のとおりであります。

(コンサルティング事業)

情報セキュリティを主体としたコンサルティング事業は、eコマース市場の拡大を背景にプライバシーマークやISO27001の認証取得ニーズも増加しており、前事業年度より引き続き強化しているウェブ戦略、提案型営業活動及び既存顧客に対する積極的な更新需要の掘り起こしが受注に繋がった結果、計画を上回る売上高及び利益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は72,376千円(前年同期比29.5%増)、営業利益は14,950千円(前年同期比431.9%増)となりました。

(マーケティングリサーチ事業)

インターネットリサーチを主体としたマーケティングリサーチ事業は、震災の反動による既存顧客の本格的な回復を背景に予想以上の受注と営業体制刷新による新規顧客の獲得効果が現れるとともに、他社との差別化戦略(リサーチ・サポート)も功を奏し、計画を上回る売上高及び利益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は124,711千円(前年同期比21.5%増)、営業利益は23,178千円(前年同期比300.2%増)となりました。

(情報デジタルサービス事業)

データベース構築支援および図書館支援事業は、安定した受注体制にあります。既存顧客に対する顧客満足度の向上を図るとともに、新規顧客獲得のための積極的な営業活動に努めた結果、計画を上回る売上高及び利益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は245,374千円(前年同期比16.5%増)、営業利益11,507千円(前年同期3,701千円の損失)となりました。

(株)バルクホールディングス(2467) 平成25年3月期第2四半期決算短信

(IT事業)

IT事業は、業界特有の下期偏重型の売上であります。安定した顧客からの受注に加え、エンドユーザー獲得など顧客層拡大による収益構造の転換が進み、概ね計画通りの売上高となり、利益については、計画を上回る結果となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は75,077千円（前年同期比0.6%増）、営業損失1,877千円（前年同期2,931千円の損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて10,062千円減少し、342,672千円となりました。これは、有価証券が10,453千円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて2,275千円減少し、51,784千円となりました。これは、ソフトウェアが1,820千円減少したことなどによります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて14,137千円減少し、147,199千円となりました。これは、買掛金が13,672千円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて5,310千円減少し、72,050千円となりました。これは、長期借入金が6,220千円減少したことなどによります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて7,109千円増加し、175,207千円となりました。これは、利益剰余金期末残高が8,462千円増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、現時点においては平成24年5月11日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、当第2四半期の業績（セグメント間取引消去後）につきましては、下記のとおりであります。

	当第2四半期 (実績) (千円)	前第2四半期 (実績) (千円)	増減	
			比較増減 (千円)	増減率 (%)
コンサルティング事業	71,636	55,371	16,264	29.4
マーケティングリサーチ事業	123,711	102,640	21,070	20.5
情報デジタルサービス事業	245,374	210,664	34,709	16.5
IT事業	70,058	74,593	△4,534	△6.1
売上高	510,779	443,269	67,519	15.2
営業利益	3,486	△44,449	47,935	—
経常利益	7,935	△38,111	46,047	—
四半期純利益	8,462	△39,766	48,049	—

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	
当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。これによる損益へ与える影響は軽微であります。	

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社グループは、前連結会計年度において売上高973,900千円、営業損失27,112千円、経常損失28,348千円、当期純損失34,623千円を計上しており5期連続の営業損失及び営業キャッシュ・フローのマイナスを計上したため、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象が存在しておりました。このような状況から脱却すべく、収益向上、経費削減等の経営改革を継続的に努めた結果、平成25年3月期第2四半期累計期間において営業利益、経常利益、四半期純利益を計上し、通期においても黒字化が見込まれることから、「継続企業の前提に関する重要事象等」の記載を解消いたしました。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	157,167	176,616
受取手形及び売掛金	158,172	132,574
有価証券	10,453	—
商品及び製品	188	185
仕掛品	7,649	10,722
原材料及び貯蔵品	945	1,327
その他	27,554	31,795
貸倒引当金	△9,397	△10,549
流動資産合計	352,734	342,672
固定資産		
有形固定資産	5,233	4,729
無形固定資産		
のれん	2,372	1,987
ソフトウェア	10,831	9,011
その他	1,147	1,541
無形固定資産合計	14,351	12,540
投資その他の資産		
敷金及び保証金	24,736	24,637
その他	22,170	22,308
貸倒引当金	△12,431	△12,431
投資その他の資産合計	34,475	34,514
固定資産合計	54,060	51,784
資産合計	406,794	394,456
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,745	14,073
1年内返済予定の長期借入金	7,640	7,740
未払費用	38,432	41,497
未払法人税等	2,823	1,642
賞与引当金	9,772	12,502
ポイント引当金	31,743	25,466
その他	43,177	44,276
流動負債合計	161,336	147,199
固定負債		
長期借入金	54,200	47,980
退職給付引当金	22,504	24,070
その他	655	—
固定負債合計	77,360	72,050
負債合計	238,696	219,249
純資産の部		
株主資本		
資本金	573,951	573,951
資本剰余金	459,310	459,310
利益剰余金	△879,550	△871,088
株主資本合計	153,710	162,173
少数株主持分	14,386	13,033
純資産合計	168,097	175,207
負債純資産合計	406,794	394,456

(株)バルクホールディングス(2467)平成25年3月期第2四半期決算短信

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	443,269	510,789
売上原価	333,989	364,510
売上総利益	109,280	146,278
販売費及び一般管理費	153,729	142,791
営業利益又は営業損失(△)	△44,449	3,486
営業外収益		
受取利息	77	359
賞与引当金戻入額	4,681	2,523
保険解約返戻金	—	1,686
その他	2,226	647
営業外収益合計	6,985	5,216
営業外費用		
支払利息	613	573
その他	33	194
営業外費用合計	647	767
経常利益又は経常損失(△)	△38,111	7,935
特別損失		
固定資産除却損	266	—
特別損失合計	266	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△38,378	7,935
法人税、住民税及び事業税	3,143	916
法人税等調整額	△21	△89
法人税等合計	3,121	826
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△41,500	7,109
少数株主損失(△)	△1,733	△1,352
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△39,766	8,462

(株)バルクホールディングス(2467)平成25年3月期第2四半期決算短信

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△41,500	7,109
四半期包括利益	△41,500	7,109
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△39,766	8,462
少数株主に係る四半期包括利益	△1,733	△1,352

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) 重要な後発事象

第三者割当による新株式の発行

当社は、平成24年10月15日開催の取締役会において、西澤管財株式会社を割当先とする第三者割当による新株式発行を決議し、平成24年10月31日に払込が完了しております。

- | | |
|----------------|--|
| (1) 発行新株式数 | 普通株式 10,000株 |
| (2) 発行価額 | 1株につき 6,770円 |
| (3) 発行価額の総額 | 67,700,000円 |
| (4) 資本組入額 | 1株につき 3,385円 (総額33,850,000円) |
| (5) 募集又は割当方法 | 第三者割当による新株式発行 |
| (6) 申込日 | 平成24年10月31日 |
| (7) 払込期日 | 平成24年10月31日 |
| (8) 割当先及び割当株式数 | 西澤管財株式会社 10,000株 |
| (9) 資金の使途 | 当社運転資金、当社事業子会社への貸付、当社グループ各社の事業拡大に伴う事業上の運転資金に充当する予定であります。 |